

2. 受講生によるアンケート評価

◎「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」アンケート集計結果

受講者人数：計 41 名

I-1【属性について】

(コメント)

- ・受講生は7大学12学部からであり、文系、理系に偏ることはなかった。いずれの所属大学も単位互換協定を締結している「教育ネットワーク中国」に加盟していた。
- ・2年次生と3年次生で6割を占め、3分の2が女子であった。
- ・過去のフィールドでの授業経験者は、15%に過ぎず、高校までの総合科目の受講世代としては予想外に少なかった。何らかのフィールド学習を体験しなかった学生が受講を希望したとも考えられ、次年度以降の調査で明らかにしておく必要がある。

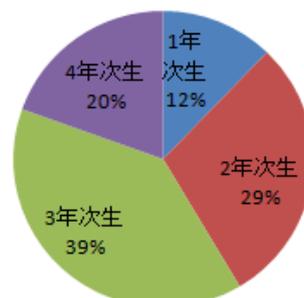
I-1-1) 所属大学・学部(コース等)

- ・安田女子大学…15名
 - 家政学部管理栄養学科 8名
 - 家政学部生活デザイン学科 4名
 - 文学部心理学科 2名
 - 文学部日本語学科 1名
- ・広島女学院大学…7名
 - 生活科学部生活デザイン情報学科 2名
 - 文学部日本語日本語学科 5名
- ・県立広島大学…6名
 - 生命環境学部国際文化学科 3名
 - 人間科学部国際文化学科 3名
- ・呉工業高等専門学校 機械工学科 …6名
- ・広島国際学院大学 工学部総合工学科 …4名
- ・島根県立大学 総合政策学部 …2名
- ・エリザベト音楽大学 演奏学科 …1名

I-1-2) 学年

- ・1年次生：5名
- ・2年次生：12名
- ・3年次生：16名
- ・4年次生：8名

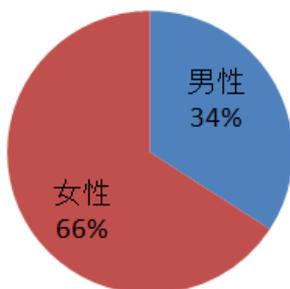
参加者の学年



I-1-3) 性別

- ・男性：14名
- ・女性：27名

参加者の性別



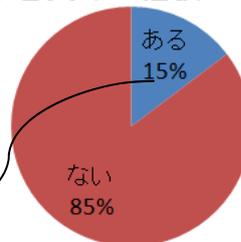
I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドで何らかの授業を受けた経験があるか ある：6名，ない：35名



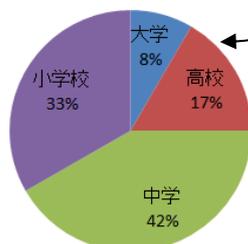
I-1-5) それほどの時期か（複数回答可）

- ・大学：1名
- ・高校：2名
- ・中学：5名
- ・小学校：4名

今までにフィールドでの授業を受けた経験の有無



受けた時期



I-1-6) 授業の内容

- ・植物の生態，昆虫，宮島の文化（弥山登り），海的环境など
- ・小学校：「野菜の栽培」「地域の川・用水路を調べる」，中学校：「地域の農家の方の所で職場体験」
- ・野菜の栽培，家畜のエサやり
- ・稲の田植えと刈り取り。地域の川掃除
- ・野菜の栽培，家畜のエサやり（2名）
- ・近所の畑を借りて，稲，とうもろこし，さつまいも等の栽培

I-2 【授業に参加するにあたっての情報入手について】

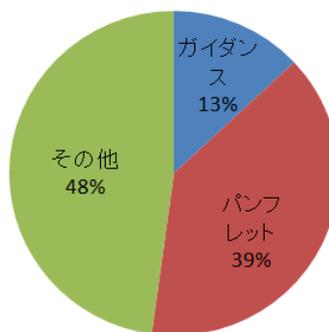
(コメント)

・本プログラムに関する情報は、パンフレットと大学のガイダンスによるもの以外はさまざまであった。取組初年度ということもあって、あまり情報が行きわたっていなかったようであり、次年度に向けた情報発信を強化する必要がある。

授業のことを、何を通して知ったか（複数回答可）

- ・ガイダンス：6名
- ・パンフレット：18名
- ・先輩から：該当者なし
- ・ネット：該当者なし
- ・その他：22名

この授業を知ったきっかけ



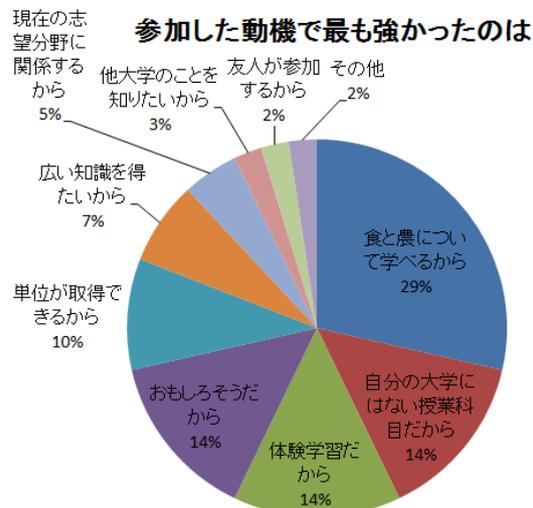
I-3 【授業に参加した理由について】

(コメント)

・最も強い受講理由として、約3割の学生が「食と農について学べるから」と答えている。次いで、「おもしろそうだから」、「自大学にない授業科目」、「体験学習だから」を挙げており、二番目の動機ともほぼ合致した。なお、現在の志望分野との関連性はあまり高くないようであった。

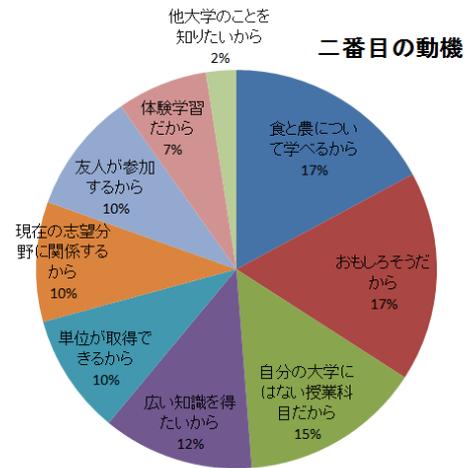
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- ・自分の大学にはない授業科目だから：6名
- ・体験学習だから：6名
- ・単位が取得できるから：4名
- ・現在の志望分野に関係するから：2名
- ・食と農について学べるから：12名
- ・広い知識を得たいから：3名
- ・他大学のことを知りたいから：1名
- ・知人が参加するから：1名
- ・おもしろそうだから：6名
- ・その他（記述）：1名



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学にはない授業科目だから：6名
- ・体験学習だから：3名
- ・単位が取得できるから：4名
- ・現在の志望分野に関係するから：4名
- ・食と農について学べるから：7名
- ・広い知識を得たいから：5名
- ・他大学のことを知りたいから：1名
- ・知人が参加するから：4名
- ・おもしろそうだから：7名
- ・その他（記述）：該当者なし



I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

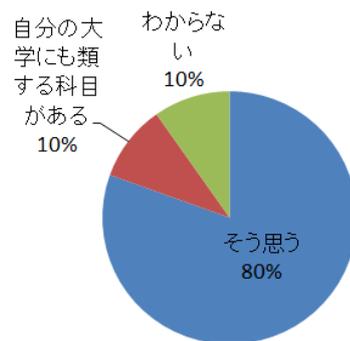
(コメント)

- ・1割の学生が今回の受講科目は自大学にも類する科目があると答えているが、おそらく県立広島大学からの受講生と推察される。これら農学系学部生を対象とした当学部生と同等のプログラムが次年度から開講される予定である。
- ・学生は他大学での授業を受講できることに非常に肯定的である。

I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だったか

- ・そう思う：33名
- ・自分の大学にも類する科目がある：4名
- ・わからない：4名

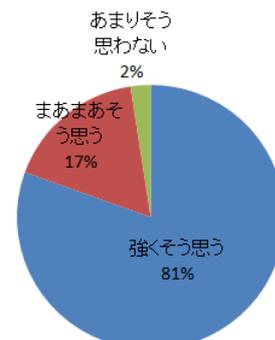
自大学にはない科目・内容だったか



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できてよかった

- ・強くそう思う：33名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

他大学の授業を受講できてよかったと思うか



I-5【他大学の学生との交流等について】

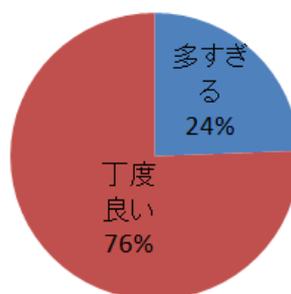
(コメント)

・全ての受講生は、他大学の学生と同じ授業を受講し、交流できる機会を望んでいたが、「実際に交流できたか」については、2割の学生はあまり交流できなかったと回答した。今回の演習では、なるべく異大学の学生でグループを構成するようにしたが、参加者数の多い大学の場合、1グループ内に同じ大学からの学生も含まれるために、他大学の学生とのコミュニケーションが少なくなったのかもしれない。

I-5-1) この授業は定員30名に制限しているが(今回は42名)、この定員数について

- ・多すぎる：10名
- ・丁度良い：31名
- ・少なすぎる：該当者なし

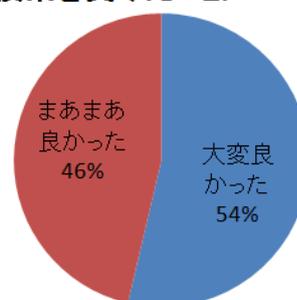
授業の定員数について



I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- ・大変良かった：22名
- ・まあまあ良かった：19名
- ・あまり良くなかった：該当者なし
- ・悪かった：該当者なし

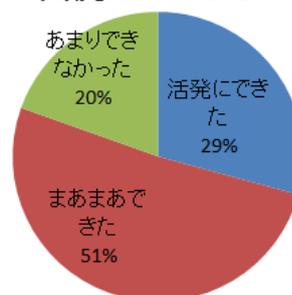
他大学の学生と同じ授業を受けたことについて



I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたか

- ・活発にできた：12名
- ・まあまあできた：21名
- ・あまりできなかった：8名
- ・全くできなかった：該当者なし

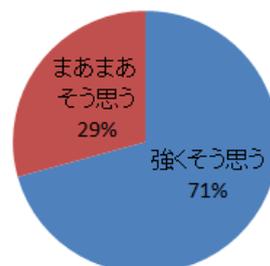
他大学の学生と交流ができたか



I-5-4) 今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良い事だ

- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良い事だと思うか



I-6 【この授業は3泊4日の集中形式で、講義・実習・発表の3部から構成されている】

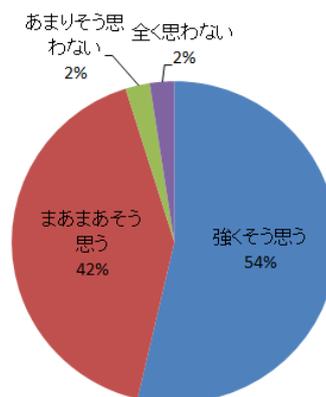
(コメント)

- ・授業は演習形式(講義+実習+発表)で行われた。実習が最も面白いと回答しているが、実習に講義と発表を組合わせたことで、より内容を理解しやすくなったようである。
- ・3泊4日の集中宿泊演習については、20%が短すぎる、14%が長すぎるとの感想をもち、残りの6割強が妥当としている。

I-6-1) こうした組み合わせは授業を理解するうえで有効である

- ・強くそう思う：22名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：1名

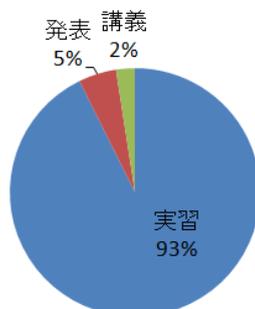
講義・実習・発表の三部構成は授業を理解するうえで有効だと思うか



I-6-2) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・ 講義：1名
- ・ 実習：38名
- ・ 発表：2名

三部構成のうち最も面白かったもの



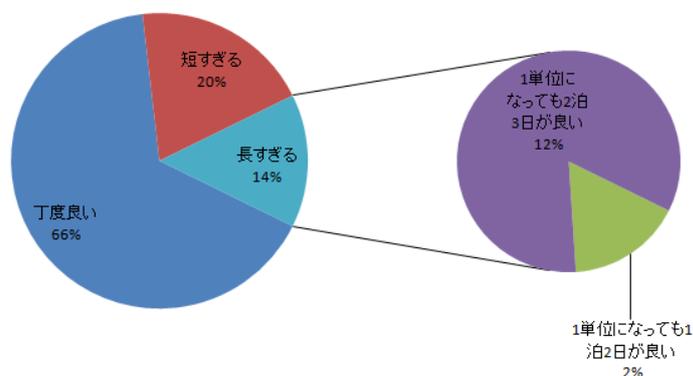
I-6-3) 3泊4日の日数について

- ・ 長すぎる：6名

↳ I-6-4) 何日なら良いか

- ・ 1単位になっても1泊2日が良い：1名
- ・ 1単位になっても2泊3日が良い：5名
- ・ 丁度良い：27名
- ・ 短すぎる：8名

3泊4日の日数について



I-7 【参加費に関して】

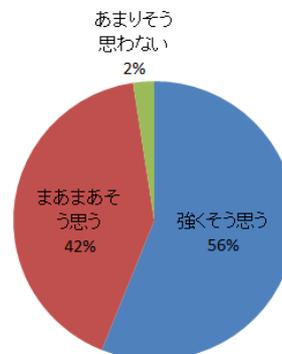
(コメント)

・ 宿泊施設については1割、食事については3割の学生が不満を持っているが、残りの学生は参加費からして妥当と受け止めている。本宿泊施設は、体育系クラブの合宿に利用されることが多く、その時と同じ外部業者に給食配達を依頼したため、食事量が多かったことも影響しているのかもしれない。もう少し参加費が高くて良いとの回答が多いことから、次年度以降には食事の質的な面についても配慮する必要がある。

I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

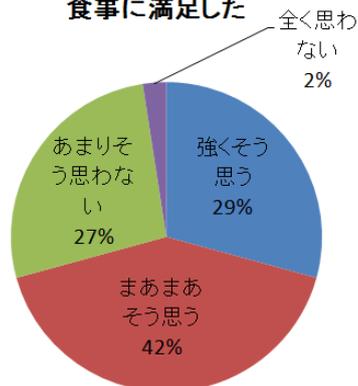
自分の得たものを考えると 参加費は妥当



I-7-2) 参加費から考えて、食事に満足できた

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：11名
- ・全く思わない：1名

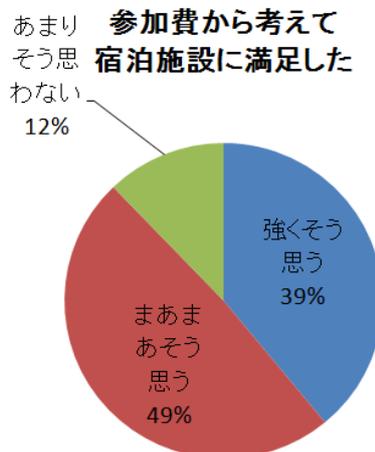
参加費から考えて 食事に満足した



I-7-3) 参加費から考えて、宿泊施設に満足できた

- ・強くそう思う：16名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし

参加費から考えて 宿泊施設に満足した



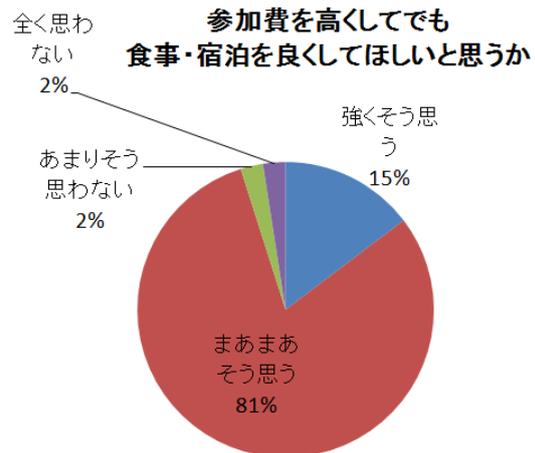
I-7-4) 参加費をもっと高くしても食事と宿泊施設をよくしてほしい

- ・強くそう思う：6名



I-7-5) 参加費がどの程度までなら参加するか

- ・10,000～15,000円：6名
- ・16,000～20,000円：該当者なし
- ・21,000～25,000円：該当者なし
- ・26,000～30,000円：該当者なし
- ・まあまあそう思う：33名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：1名



I-8 【食農フィールド科学演習全体についての感想】

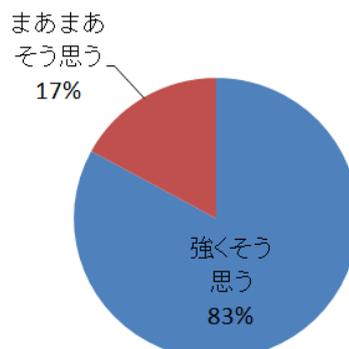
(コメント)

- ・ほとんどの受講生は、今回の食農フィールド科学演習を通して、食と農に関わる農学系フィールド科学についての関心が高まり、今後、食料生産の重要性について考えていきたいと答えている。
- ・その一方、行動力や積極性、コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップといった能力面については、短期間で身に付くものではないためか、2～4割の学生が否定的であった。
- ・今回の演習について全体として、9割以上の受講生がほぼ満足できた模様である。

I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で有意義である。

- ・強くそう思う：34名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

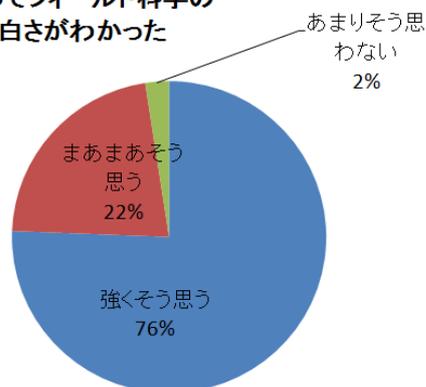
フィールド科学演習の形式は物事を考える上で有意義だと思うか



I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・強くそう思う：31名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

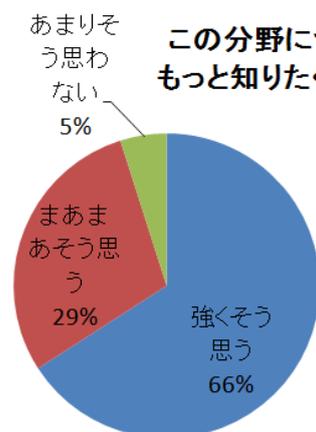
この演習によってフィールド科学の幅広さ・面白さがわかった



I-8-3) 今回の演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・強くそう思う：27名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし

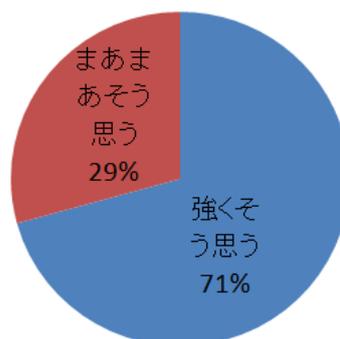
この分野についてもっと知りたくなった



I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

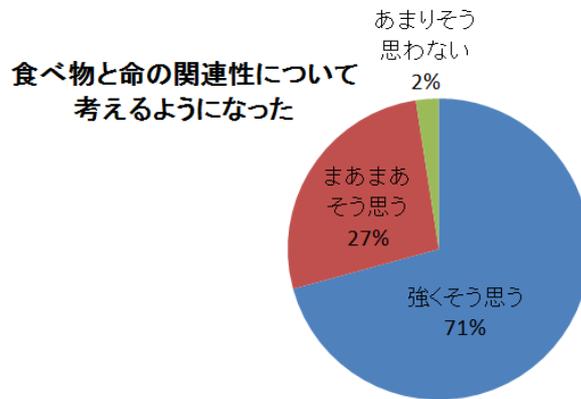
- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

農学系学問分野への理解が深まり、視野を広く持てるようになった



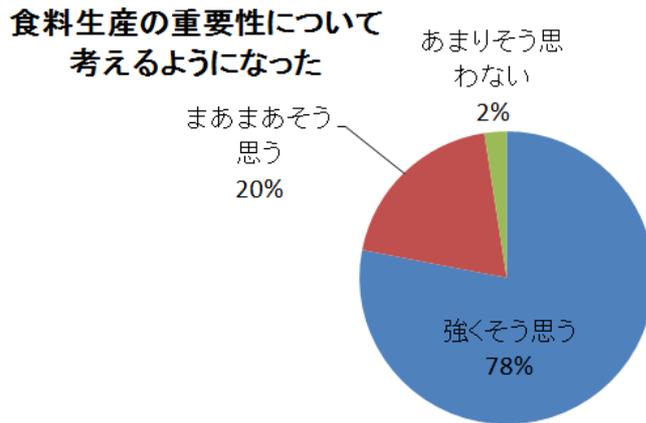
I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



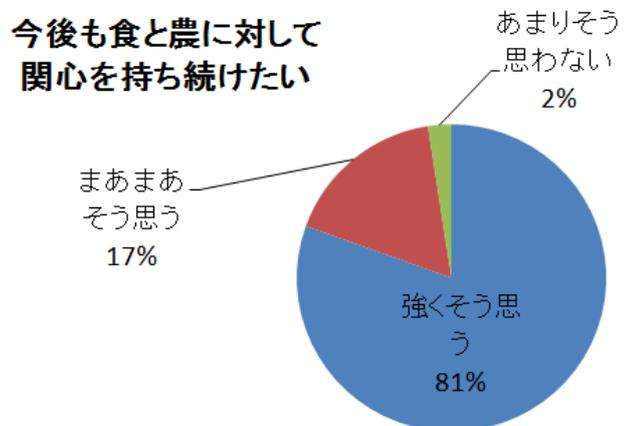
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：32名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



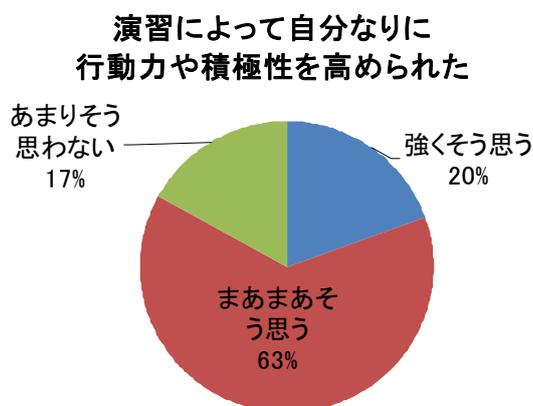
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- ・強くそう思う：33名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



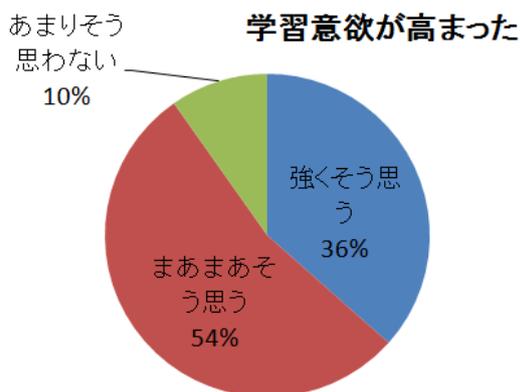
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：26名
- ・あまりそう思わない：7名
- ・全く思わない：該当者なし



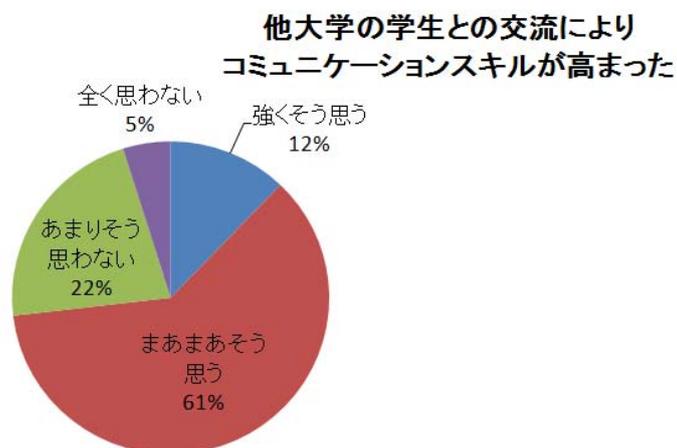
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：22名
- ・あまりそう思わない：4名
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

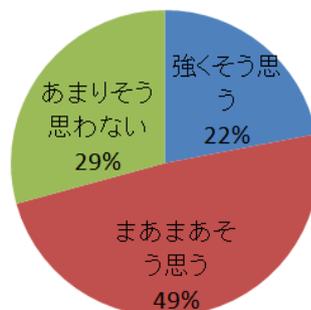
- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：25名
- ・あまりそう思わない：9名
- ・全く思わない：2名



I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- ・強くそう思う：9名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：12名
- ・全く思わない：該当者なし

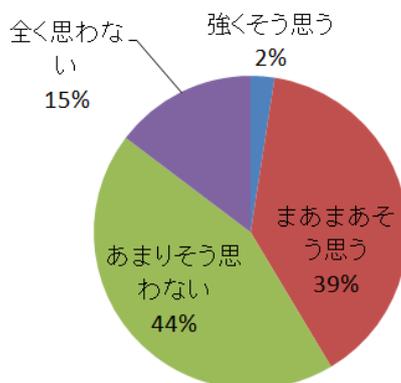
グループ単位の実習によって
チームワークに対する意識が高まった



I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強くそう思う：1名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：18名
- ・全く思わない：6名

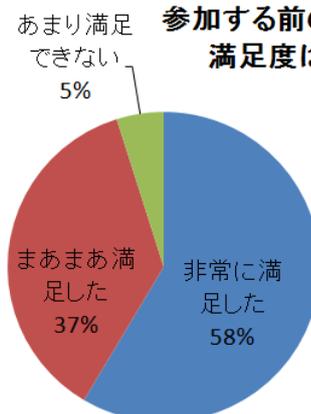
グループ単位の実習によって
リーダーシップをとる力が高まった



I-8-13) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

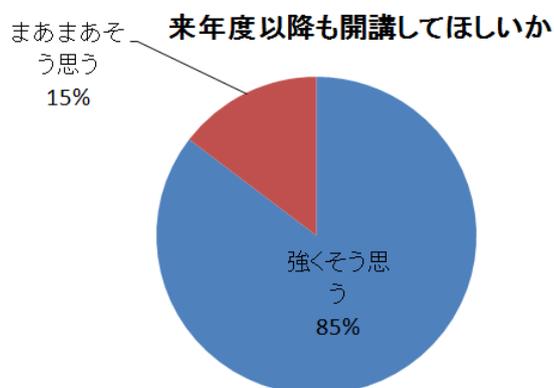
- ・非常に満足した：24名
- ・まあまあ満足した：15名
- ・あまり満足できない：2名
- ・全く満足できない：該当者なし

参加する前の期待度に比べ、
満足度はどうだったか



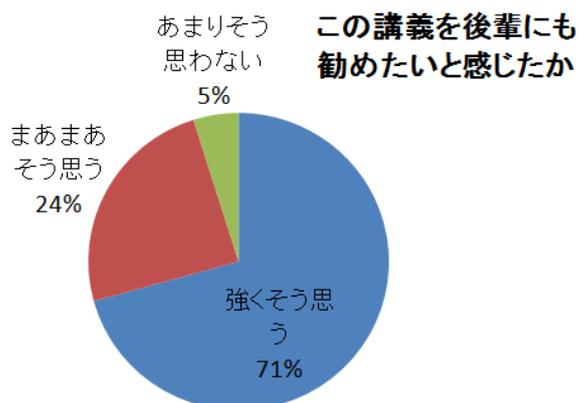
I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- ・強くそう思う：35名
- ・まあまあそう思う：6名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

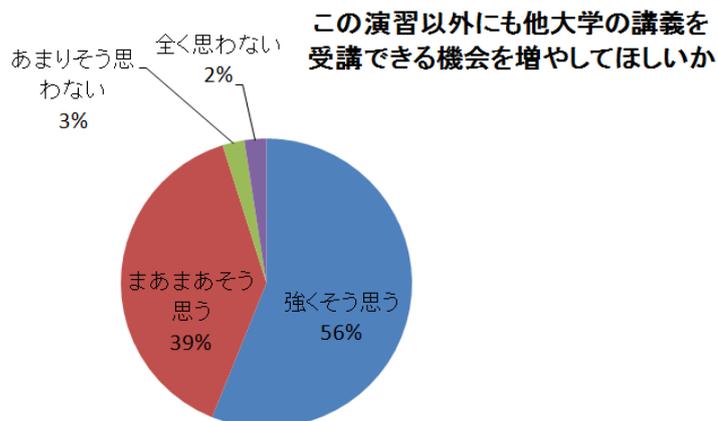
- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



I-9 【その他】

I-9-1) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしいか

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：1名



I-9-2) フィールド演習一般についての受講者の意見

大多数の回答がフィールド演習“一般”についてではなく“今回の演習”に対する意見・感想であったため、今回の演習に対する意見を中心に肯定的意見、否定的意見として分類した。

- 回答者数：31名，無回答者数：10名
(のべ回答数：36)

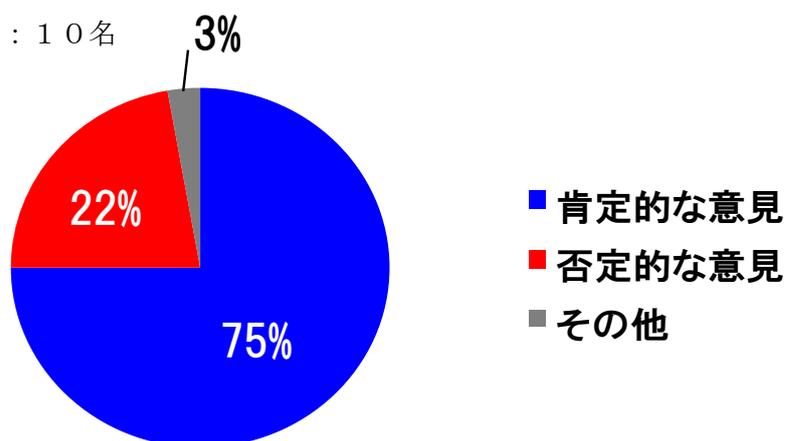


図 I-9-2) フィールド演習に対する肯定的な意見と否定的な意見の割合

《肯定的な意見・感想》

- ・ 3泊4日で時間一杯使って発表するのは楽しかった。
- ・ 実習や見学など普段できないことができ良かった。
- ・ 演習授業では、畜産農業を体験したり、働いている人の技術を見ることができた。
- ・ これからもフィールド演習の様な場で違う目線から物事を考えることが大切だと感じる事ができた。
- ・ 普段行くことのないフィールドでの演習は、何もかもが新鮮で、たくさんの知識を身につけることができるので大変良いことだと思いました。
- ・ 実習も講義も自分の知らないことだらけでとても楽しかった。
- ・ 机ではなく外で演習することにより、とても分かりやすく実感しやすいのでとてもいいと思う。ただ口頭説明では頭で字に変換しにくい。
- ・ 普段体験できないようなことができとても良いと思った。
- ・ フィールド演習の中で普段触れることのないもの、生き物とふれ合えることは、自分の見識を深めることにつながる。
- ・ 単なる座学では得られないものがあり、深い理解をすることができる。
- ・ 他大学の授業には常に興味がある。フィールド演習は得るものが多いと考えている。
- ・ 農業について知らなかった事などフィールド演習を通して知り体験することができた。
- ・ 実習することで、知識をより深くできる。また、体で覚えたことは長く記憶に残ると思うので、これから生きていく上で何かしら役に立つことができると思う。
- ・ 講義で学ぶだけよりも、実際に体感しながら考える事ができるので、より知識も考え方も深

まると思います。

- ・私は2泊3日でしたが、とても濃い2泊3日になりました。
- ・他学部や他大学の生徒との交流が持てるし、他大学の先生の授業が受けれてとても勉強になった。実習があるので楽しみながら勉強できて良かった。
- ・ただ座学でやるのではないので、内容もよく分かり、興味も持てるので良いと思う。
- ・動き回り、実際に体験できて良かった。
- ・普段体験できないことを実際に見て、体験することにより、あらかじめ持っていた知識がより一層深まることができ、また新たな知識を身につけるにも大変良い機会だと思う。
- ・実習を行うことでより理解が深まったと思う。
- ・なかなか他の分野の専門的な授業を受けられる機会がなく、実際に体験できる機会も少ないので、とても貴重な経験になった。また他大学の方の意見も聞けてそういう考え方もあるんだと学んだこともたくさんあった。
- ・体験授業、講義共におもしろかった。
- ・牛乳の詳しいことや家畜のことなど知らないことたくさん知れたのは勉強になった。
- ・大学構内で座って学ぶだけでは分からない実体験、動いて見て感じるということがとても良いことだと思う。
- ・他大学で何かをすること自体が少ないのですごくいい機会だと思う。
- ・実際にフィールドに出てみないと分からない事ばかりだと思う。

《否定的な意見・感想》

- ・数分や数時間では分からない事も多いだろうとも思い、もう少しゆっくりとしたいと思った。
- ・班で仲良くなる時間をもっと作って欲しかった。
- ・実習の後講義は眠くなってしまうので逆の順序が良いと思った。ご飯の量が多過ぎたのでかなりの人が残っていたのは講義の内容と反するので変えた方が良かったと思った。
- ・人数が多すぎる気がした。
- ・もう少し講義より実際に体験する演習中心でいけばいいと思った。
- ・宿泊施設での自由時間はありましたが、農場での自由時間があれば良いなと思った。
- ・先生たちの話を個人的に聞ける時間がもっと欲しかった。
- ・なかなか動物達を間近で見る機会はないのももう少し農場内での自由時間が欲しかった。宿泊棟での自由時間はもっと少なくても良かった（周りに何もなくてつまらなかったのだ）。

《その他（未分類）》

- ・実習を通して物事を深く考える演習授業のこと。

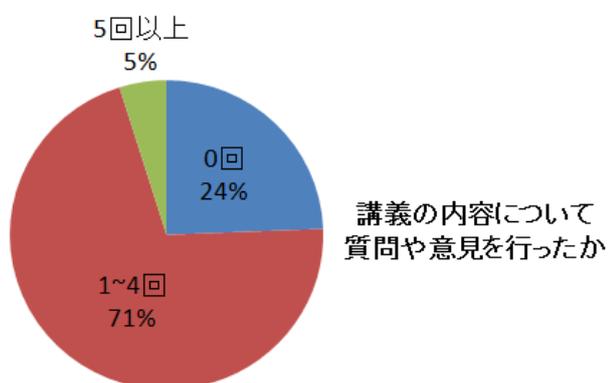
II 授業に関する質問

II-1-1) 講義内容について

- ・よく理解できた：13名
- ・まあまあ理解できた：26名
- ・あまり理解できなかった：2名
- ・全く理解できなかった：該当者なし

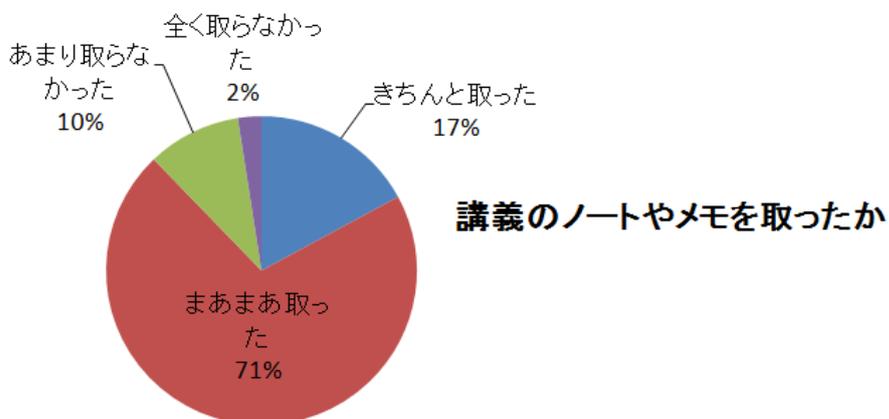
II-1-2) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり意見を述べたりしたか

- ・0回：10名
- ・1~4回：29名
- ・5回以上：2名



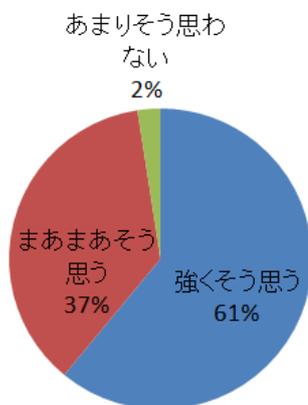
II-1-3) 講義のノートやメモを取ったか

- ・きちんと取った：7名
- ・まあまあ取った：29名
- ・あまり取らなかった：4名
- ・全く取らなかった：1名



Ⅱ－１－４）講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものだったか

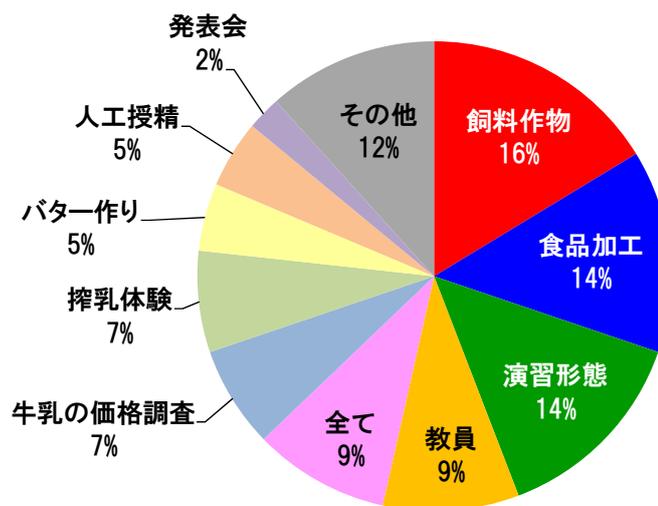
- ・強く思う：25名
- ・まあまあ思う：15名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



講義内容は理解の手助けになったか

Ⅱ－１－５）講義のどのような部分が面白かったか

- 回答者数：38名，無回答者数：3名
(のべ回答数：43)



図Ⅱ－１－５） 「面白かった部分」として挙げられていた内容のカテゴリ別の割合

- 以下に面白かった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリ別に記載する。

《飼料作物》

- ・飼料作物についての授業が楽しかったです。
- ・飼料作物についてや普段飲んでいる牛乳などについて深く学べたこと。
- ・今まで聞いたことのない内容を知ることができたところ。エサの種類や、エサの量と肉の量の関係を知ることができ、これからの生活の上で知らなくてはいけないことを知ることができた。
- ・トウモロコシのことを調べたこと。

- ・実際に見て体験できる(トウモロコシなど)。
- ・実際に乳搾りをできたり、エサをあげられたこと
- ・実際に動物や植物と触合えた事。
- ・今まで知らなかったことを知って勉強になった。

《食品加工》

- ・ヨーグルトに関する乳酸菌などの微生物の働き。
- ・どのようにしてヨーグルトやチーズができるのかという講義の菌についてのところが面白かったです。
- ・聞いたことのある言葉だけど意味を知らなかった言葉(プロバイオティクス等)が分かったり、ヨーグルトが想像以上にデリケートなものだということが分かって面白かった。
- ・ヨーグルト作りの前の前後の講義が楽しかった。
- ・ヨーグルトとカッテージチーズが凝固するしくみはすごく興味深かったです。
- ・人間の腸内細菌。

《授業形態》

- ・1つ1つの講義が話だけで終わるのではなく、一通り説明した後で実際の現場や現物などを目で見て体験するという形式がすごく良かった。
- ・4日間を通し、何度も同じ内容を聞くことで、講義同士がつながり楽しかった。
- ・色々な図などを使って分かりやすかった。
- ・実際に見て、触って感じた事が一番面白かったです。
- ・講義を受けてすぐに実習だったので、より立体的に理解できたのではないかと思う。

《教員》

- ・先生たちのユーモアあふれる話を交えながらする所は大変おもしろかった。
- ・他大学の教授の先生の講義を聞く機会はなかなかないので新鮮でした。
- ・他大学の先生である事などから、説明の仕方など、新鮮で興味が持てました。
- ・講義後に先生に質問して、先生の意見が聞けたこと。

《全て》

- ・全部おもしろかったです。ありがとうございました。
- ・知らない分野の事を学び、知っていても浅かった知識が深まった気がして面白かった。
- ・自分が持っていたイメージとの差やここに来ないと知ることが出来なかったことなど、どの実習も楽しんですることができました。

《牛乳の価格調査》

- ・牛乳や乳製品の価格など現実的なことも知ることができ、これから食べ物を買う時はもっと考えられるようになりました。
- ・今まで知らなかったことを知って勉強になった。
- ・牛乳の価格と実態について。

《搾乳体験》

- ・牛の乳搾りなど、普段体験できないことを経験できたこと
- ・初めて牛に触れ、また乳搾りを体験できた点。
- ・実際に乳搾りをできたり、エサをあげられたこと。

《バター作り》

- ・実際に新鮮な牛乳からバターを作ることができたので良かった。
- ・牛乳にも色々な種類があること。ノンホモ・ホモ。

《人工授精》

- ・人工授精の話はすごく面白かったです
- ・顕微鏡を使ったのが面白かった。

《発表会》

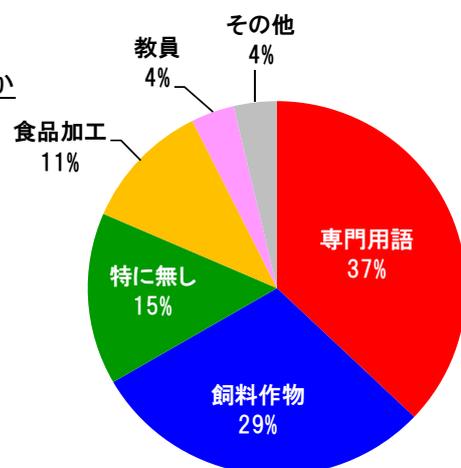
- ・全く知らない人と組んで1つの発表作品を作っていくのがとても面白かった。

《その他》

- ・専門分野でしか聞けないことがたくさん学べたところ。
- ・今まで知らなかった知識が講義によって知ることができた点。
- ・断尾などの痛そうな話。
- ・意外な事が知れたりしたこと。
- ・自分の学科の授業とかぶっている所が詳しく説明してもらえたので理解できておもしろかった(家政学部管理栄養学科の学生)。
- ・関連する豆知識を作ることができた。

Ⅱ－１－６) 講義のどのような部分が理解しにくかったか

- 回答者数：27名，無回答者数：6名
(のべ回答数：27)



図Ⅱ－１－６) 「理解しにくかった部分」として挙げられていた内容のカテゴリー別の割合

- 以下に理解しにくかった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリ一別に記載する。

《専門用語》

- ・新しく覚える単語がたくさんあって難しかったです。
- ・専門用語がたまに出てきて、先生は説明して下さいましたが一部分かりにくいところもありました。
- ・知らない単語があった点。
- ・専門的になると分かりにくい部分もありました。
- ・専門用語が少し理解しにくかったですが、丁寧にそのことも説明してもらって分かりやすかったです。
- ・専門用語ばかりで難しい。非農学系の学生を相手にしているのだから、あまり専門的でなくとも良いのでは？
- ・これまで聞いたことのない言葉や単語の意味が理解できるまで時間がかかり、理解するのに時間がかかった。
- ・専門的な所。
- ・専門用語が時々分かりづらかった。

《飼料作物》

- ・トウモロコシのことを調べるのは面白かったがなぜ調べているのかが分からなかった。飼料に関する講義が少し難しかった。
- ・なぜトウモロコシについて詳しく調べたのかよく分かりませんでした。
- ・子牛を見ることができなかったので、他の班は見ることできて、一方が見ることができないという所は改善してもらいたい。
- ・実習中に、いろいろな家畜のえさが出てきたけれど、名前を覚えられなかったこと。
- ・羊のエサやりの辺りは自分も興味を示せず、あまり理解できなかった。
- ・家畜とエサの関わりについて全般。
- ・家畜とエサについて（お昼食べてすぐにあったからかもしれません。スイマセン）。
- ・飼料に関する部分。

《特に無し》

- ・だいたい理解できたと思います。
- ・どの講義も大変わかりやすかったので無し。
- ・どの実習も楽しかったです。

《食品加工》

- ・ヨーグルトの菌については少し難しかった。

《教員》

- ・声が聞きづらいこと（生徒がうるさかった訳ではなく、先生の声が小さかった）。

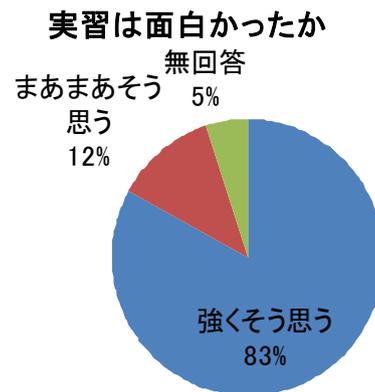
《その他》

- ・班同士で交流の時間を増やして欲しい。
- ・アンケートに所属等を書かせるのではまともな改善案は出ないかと思われます。
- ・講義は時間に余裕がなく、急いでいると感じた。
- ・あまり身近な例がない内容もあったので理解しにくかった。

Ⅱ-2 今回の実習についてお尋ねします。

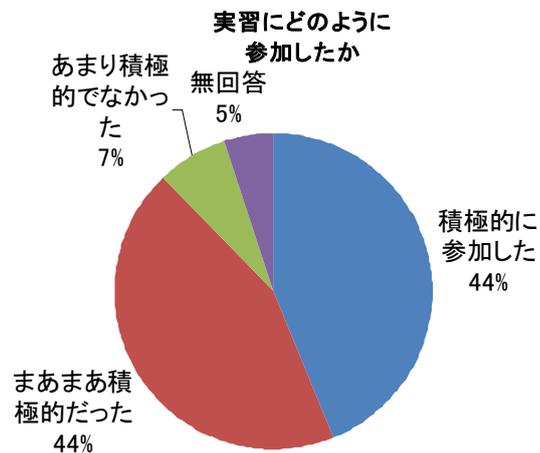
Ⅱ-2-1) 実習は面白かったですか。

- ・強くそう思う：34名
- ・まあまあそう思う：5名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：2名



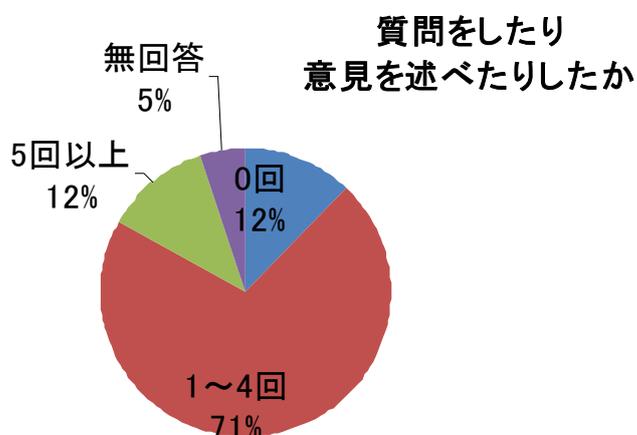
Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加しましたか。

- ・積極的に参加した：18名
- ・まあまあ積極的だった：18名
- ・あまり積極的でなかった：3名
- ・全く積極的でなかった：該当者なし
- ・無回答：2名



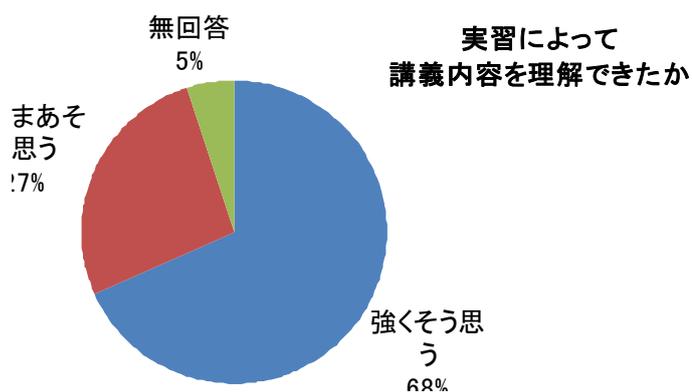
Ⅱ－２－３) 実習の際、先生や実習補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしましたか。

- ・ 0回：5名
- ・ 1～4回：29名
- ・ 5回以上：5名
- ・ 無回答：2名



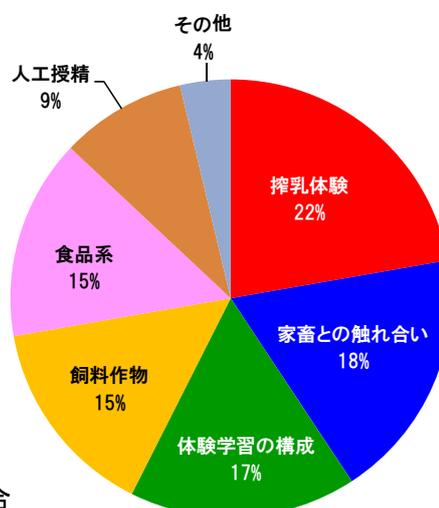
Ⅱ－２－４) 実習があることによって、講義内容を理解できるようになりましたか。

- ・ 強くそう思う：28名
- ・ まあまあそう思う：11名
- ・ あまりそう思わない：該当者なし
- ・ 全く思わない：該当者なし
- ・ 無回答：2名



Ⅱ－２－５) 実習で面白かったのはどのような点か

- 回答者数：39名，無回答者数：2名
(のべ回答数：57)



図Ⅱ－２－５) 「面白かった点」のカテゴリー別の割合

- 以下に受講者が挙げていた面白かった点をカテゴリ一別に記載する。

《搾乳体験》

- ・牛の乳搾りの実習が面白かったです。やった事がなかったので少し緊張しましたが、実際にやってみるととても面白く興味深く感じました。
- ・牛の乳搾りなど、農場独特のこと。
- ・乳搾りを実際に体験したことがなく、難しかった。
- ・乳搾りを自分の目で見れた点。
- ・実際に乳搾りができて乳が意外と短かった。
- ・普段出来ないことがたくさん出来て楽しかった。

《家畜との触れ合い》

- ・実際に動物に触れて良かった。
- ・間近で牛や羊と触れ合えてよかったです。
- ・着に農場の雰囲気に触れ、動物たちと触れ合えたりそのように育てているのか実感できた点。
- ・生き物を実際に見て、触ったことでより講義の内容を深く考えることができた。
- ・牛が見れるだけでももう面白いです。
- ・実際に作業を体験でき、動物とふれあえた事。
- ・動物たちを間近で見て触れられたこと。
- ・ウシやヒツジに直接触れることができた点。

《体験学習の構成》

- ・自分自身で体験しながら勉強することは良かったと思います。
- ・初めての体験だったのでどれも楽しめた。ただやるだけでなく、実験も兼ねていたので、深く理解することができた。
- ・内容そのもの、作業。
- ・自分の頭の中の知識と実際に体を動かして見聞きする内容には違いがあり、その違いを理解できる点がおもしろかった。
- ・しっかりと見て、触れて、体験できて良かったです。
- ・直接体験できたものが面白かった。
- ・作業を実習を通して体験したこと。
- ・自分が体験してから食べるというところが実感が湧いて良かった。
- ・牛のエサを触ったり、乳搾りをしたりと、手で色々なものに触れたこと。

《飼料作物》

- ・実際に動物に触ることができたり、本当に毎朝やっているエサやりなどをやらせてもらえたのが面白かった動物の体温を直に感じられたのが良かった。
- ・エサやりなど、普段体験できないことができたことです
- ・羊のエサやり体験

- ・ トウモロコシの見比べ
- ・ 普段は触れ合うことのできない動物の世話をすること。
- ・ 普段出来ないことがたくさん出来て楽しかった(エサやりなど)。

《食品系》

- ・ ヨーグルト作りやバター作りなど、意外と簡単にでき楽しかったです。
- ・ バター作りやヨーグルト作りなどの食物を作る実習が面白かった。
- ・ バター作りを外でしたのは楽しかった。
- ・ ヨーグルト、チーズ、バターなどを初めて作ったことが面白かったです。家でも作れると言って説明して下さったので、勉強になりました。
- ・ バターをつくれたこと。
- ・ ヨーグルトは案外簡単に作れる。チーズが豆腐のような味がした。

《人工授精》

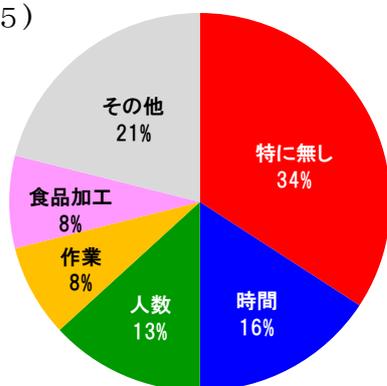
- ・ 普通に農場体験に行っても見られない人工授精を見られて驚いた。
- ・ 牛の人工授精を真近で見れたこと。
- ・ 人工授精を自分の目で見れた点。
- ・ 人工授精などの普段ぜったいにできない事ができて大変興味深いものになった。

《その他》

- ・ 他大学の人と協力してできたことがほんとによかったです。
- ・ 農場の人たちの姿を見ながら話を聞いたこと。

Ⅱ－２－６) 実習で改善してもらいたいのはどのような点ですか

- 回答者数：31名，無回答者数：10名
(のべ回答数：35)



図Ⅱ－２－６) 「改善してもらいたい点」の 카테고리一別の割合

- 以下に受講者が挙げていた改善してもらいたい点をカテゴリ別に記載する。

《時間》

- ・もう少し講義を短くして実習を長くして欲しかったです。
- ・時間がないから次々と言わないで欲しいです。ゆったり実習したかったです。
- ・段取りをうまくしてほしい。TAさんがあたふたしていた。
- ・時間が少ない。
- ・動物とふれあう時間がもう少し欲しかった。
- ・実習の数を減らして、1つの実習に時間をかけたい。

《人数》

- ・グループをもっと3つぐらいに分けて見学させて欲しかった。声が聞こえずらい時とか自分のグループがどこにいるのか分からないことが何回かあった。仔牛のミルクやりをできなかつたので全グループ同じ体験をさせてもらいたかった。見てるだけとかでも。
- ・今回は42名と多かったのですが、もっと少ない人数であれば、1人1人が体験する時間が増えるのではないかと思います。
- ・生徒の数に対して先生が少ない所(後方の方だとまったく話が聞こえない事はよくあった)。
- ・人数が多いのでやりづらい。
- ・班の人数が多く、見るだけの人がでる。

《作業》

- ・もっとガッツリやってみたい。体をもっと動かしたかった。
- ・もう少し実習を深く掘り下げれば良いと思った。
- ・もう少しいろいろやらせてくれるとうれしいです。

《食品加工》

- ・自分たちの作ったヨーグルトを食べたかった。
- ・ヨーグルトを牧場のミルクで作りたいかった
- ・調理実習場が暑く、頭がぼーっとしてしまうので、クーラーが欲しいです。

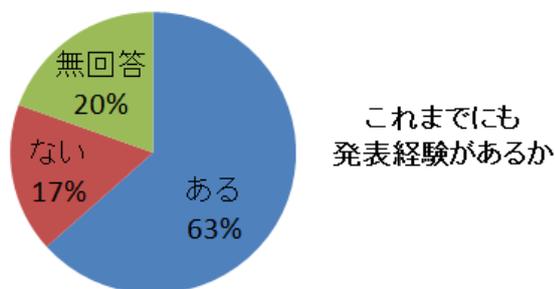
《その他》

- ・実習の後片付けを学生もするべきだと思った。道具を使いっぱなしにしておいて片付けてもらうのはよくないと感じた。
- ・説明が聞こえにくい時があり、残念だった(外で説明する時など)。
- ・何のためにやっているのかよく分からないものもあった(トウモロコシ)。
- ・班でするならもう少し班で分担できるような工夫をした方が良い。
- ・コミュニケーションはとれてなかったなあと思ったので皆で楽しくやればもっと面白かったと思いました。

Ⅱ-3 今回の発表会についてお尋ねします。

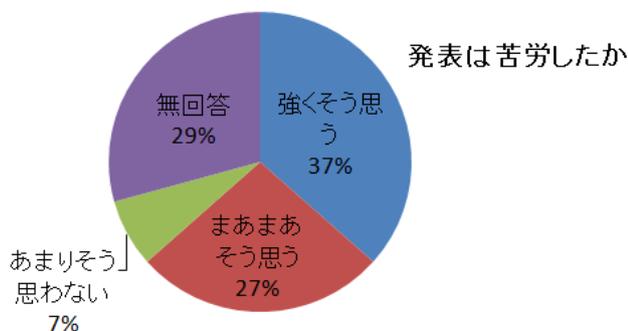
Ⅱ-3-1) これまでにも発表経験があるか

- ・ある：26名
- ・ない：7名
- ・無回答：8名



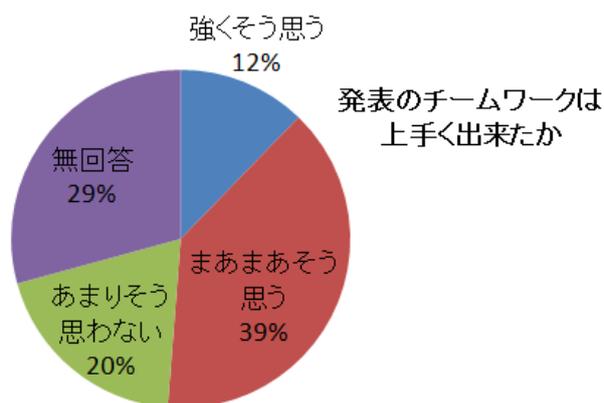
Ⅱ-3-2) 発表は大変苦労したか

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：12名



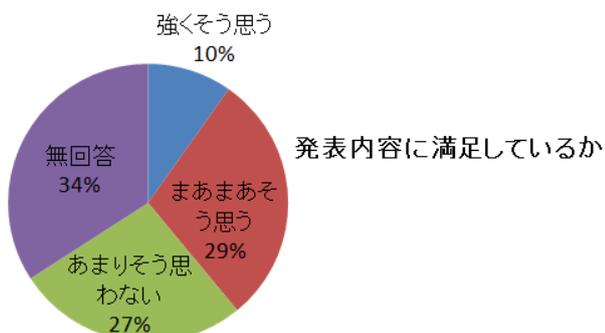
Ⅱ-3-3) 発表のチームワークは上手く出来たか

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：8名
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：12名



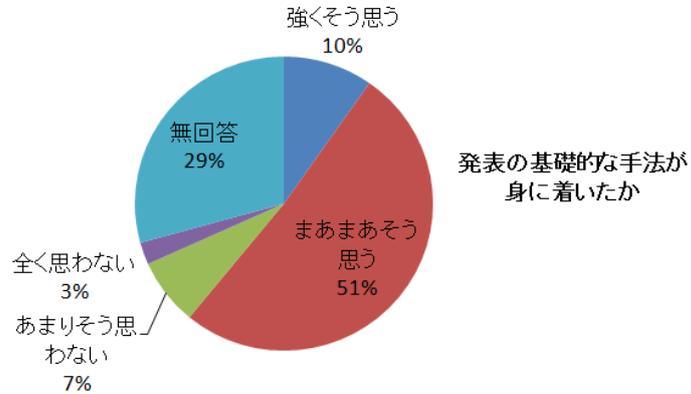
Ⅱ-3-4) 発表内容に満足しているか

- ・強くそう思う：4名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：11名
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：14名



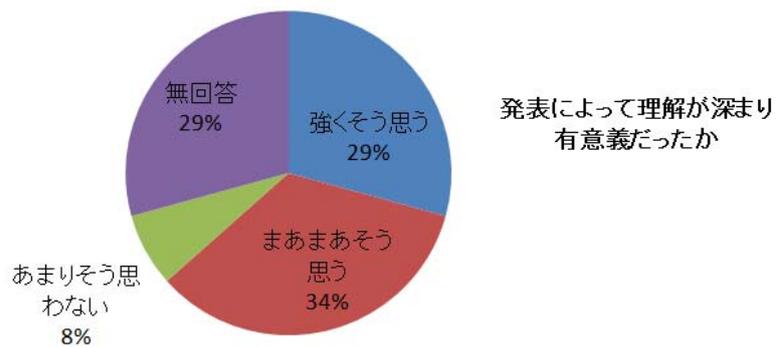
Ⅱ－３－５）発表の為の基礎的な手法が身に着いた

- ・強くそう思う：４名
- ・まあまあそう思う：２１名
- ・あまりそう思わない：３名
- ・全く思わない：１名
- ・無回答：１２名



Ⅱ－３－６）発表をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義だったか

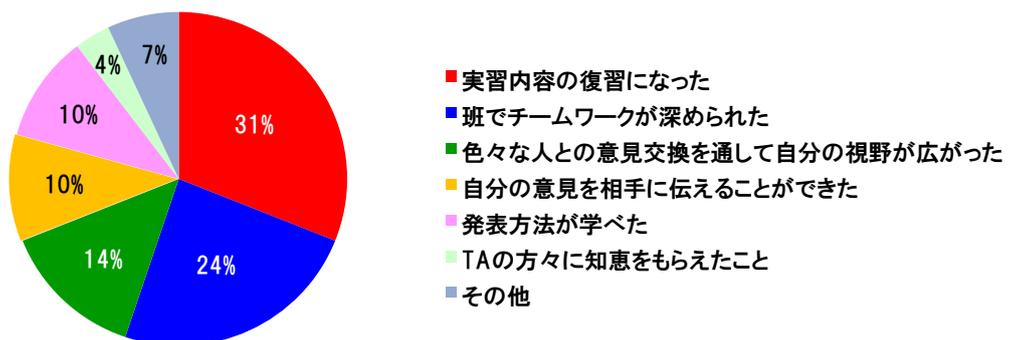
- ・強くそう思う：１２名
- ・まあまあそう思う：１４名
- ・あまりそう思わない：３名
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：１２名



Ⅱ－３－７）発表会について良かったのはどのような点か

- 回答者数：２５名，無回答者数：３名，不参加のため回答なし：１３名（２名は回答あり）
（のべ回答数：２９）

図Ⅱ－３－７）発表会について「良かった点」のカテゴリー別の割合

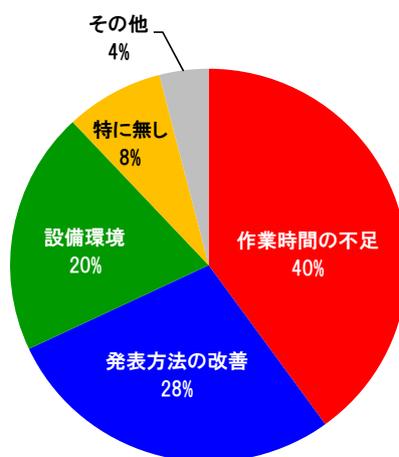


● 「その他」の内容は以下に記す。

- ・どの班も真剣に取り組んでいました。
- ・発表時間がある程度長めになっていて助かった。

Ⅱ－３－８）発表会で改善した方が良いと思われる点はどのような点か

● 回答者数：21名，無回答者数：3名，不参加のため回答なし：15名
(のべ回答数：25)



図Ⅱ－３－８） 発表会で「改善した方が良い点」に関するカテゴリ別の割合

● 「発表方法の改善」「設備環境」「その他」については詳細を以下の表に記す。

《発表方法の改善》

同様の内容が複数見られたためこのカテゴリについては以下の表に記す。

発表方法の改善内容	n	%
発表の仕方（前に出る・立つ）	3	42.8
発表会の進め方（時間厳守）	2	28.6
発表テーマを設定すべき	2	28.6

《設備環境》

- ・席を振り向いて見なくてはならなくて、態勢がきびしかったです。
- ・虫がたくさん部屋におり、頭の上に落ちてきたりして集中しにくかったのが残念でした。
- ・インターネットで調べることができたら、より良いものができたと思う。
- ・パワーポイントのスクリーンの位置がやや低くて見えにくかったのもう少し見えやすくして欲しいです。
- ・マイクの調子が悪かった。

《その他》

・すごく頼れて発表が上手く行ったのはTAさんのおかげですが、やらされてる感があり、思っていたよりもはるかに難しい内容になってしまった。はじめからどういう目的で発表するのかをきちんと理解させておくべき。

Ⅱ-4 今後の食農フィールド科学演習についてお尋ねします。

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

回答者数：39名，無回答者数：2名

(のべ回答数：57)

図Ⅱ-4-1) この演習に対する感想のカテゴリー別の割合



● 以下に「本実習に対する感想」の詳細をカテゴリー別に記載する。

《改善すべき点》

同様の内容が複数見られたためこのカテゴリーについては以下の表に記す。

改善すべき点の内容	n	%
時間管理	7	26.9
食事	6	23.1
宿泊施設	4	15.4
班の構成	3	11.5
TA	2	7.7
その他	4	15.4

<時間管理>

- ・夜遅くまで自由な時間がなかったのもう少しゆったりとした予定でやれば良いと思った。
- ・もっと体験する機会を増やしていいと思う。
- ・コミュニケーションをとる時間をもっと増やして欲しいと思った。
- ・もう少し講義の内容や説明を深く話して欲しかったです。
- ・日程が過密だと感じた。
- ・時間の割り振り方はもう少し改善すべきだと感じた。ゆったりしていい時と急ぐ時の差が激し過ぎた。
- ・班を分けてあるのだから、班で活動する時間をきちんと作った方が良い。学年や年齢も違うメンバーのため、うちとけるには時間がかかり、班行動はあっても話の時間が少ないので仲良くなる暇もなく、来た人同士でくっついてしまいがち。TAには御世話になったが、もう少し学生だけで活動させてもいいと思う。そうすればただ見てるだけという人が減ると思う。

<食事>

- ・ご飯やおかずの量が多いです。
- ・ご飯の量が多すぎです。命の尊厳の演習に来たのに、ご飯を残している人が多くてがっかりでした。
- ・ご飯の量が多かった。しかし実習の内容を考えると残飯を残すのはいけないと思い食べた。だが残している人が多く、今回の事で本当に感謝しているのか疑問に思った。
- ・食事の量が多く、残してしまい申し訳なかった。ご飯の量だけでも調節できればよかったと思う。食農の演習で食事を残すのは心苦しい。
- ・食事を工夫して欲しい。量が多くて残したくないのに食べ切れない。
- ・お弁当の量が多めで残してしまうことが多かったので少し少なめにして欲しいです。

<宿泊施設>

- ・宿泊先のバスの移動が…。
- ・宿舎が山の上にある場合はあらかじめ教えて欲しいと思った。

<班の構成>

- ・人数や男女の割合を考えて、内容をもっと印象深くつけさせたらと思いました。
- ・もう少し意欲のある方が集まればもっと楽しかったと思う（朗らかにやる気のない人がいると気分が下がってしまいます…）。
- ・人が多すぎて、手持ちぶさたになる人たちもたくさんいたので20名の4名×5班などの少人数規模でやる方が学びやすいと感じた。

<TA>

- ・TAがついていてくれたので質問はしやすかったのですが、発表となると専門的な人がいるために委縮してしまう。
- ・TAにどこまでたよっていいのかよく分からなかった。

＜その他＞

- ・ 広大からこの演習についてのメールがきた時 BCC がしていなかったので一応個人情報なのでそこはきちんとして欲しいと思いました。広大の生物系の先生方は局長をはじめ本当に面白い方ばかりで全然たいくつしないし毎日ワクワクしました。本当にありがとうございました。
- ・ 自分たちで作ったヨーグルトを食べたかった。
- ・ 定員 20～30 名の方がいいように思います。
- ・ 名札に学年と班も書くべき。

《良い点》

- ・ 知識の幅が広がって自分の考えが持てるようになった。
- ・ 様々な大学の生徒が集まって何かするという機会は少ないと思いますが、このようなフィールド学習を知らない人と協力し合って何かをするということはコミュニケーション能力の向上にとっても役立つと思います。
- ・ 新しい発見ばかりでとても楽しかった。
- ・ あまり交流の機会がない他の大学の人と交流することができた。
- ・ 実際に自分で触れたりする体験ができるのはとても貴重なことだと思う。
- ・ 自分とは他の分野の知識、経験を得ることで見識を広め、また、自分の分野に生かせる点を見つけられる。
- ・ 実習を講義と一緒にすることで理解が深まりました。
- ・ “食” と “命の尊厳” を学べてとても楽しかったので、改善すべき所はない。
- ・ 自分の通っている学部では絶対にやらないことを、外部でできることは、自分の視野も広がりとても楽しい。
- ・ 他大学さんと一緒にすることで友達の輪も広がると思う。広く学ぶことができるので、まさに大学で学ぶことの意味がここにある。
- ・ 他大学との交流もでき、とてもたのしい 2泊3日でした。
- ・ 専門的なことが学べ、普段なかなか体験できないようなことができたこと。
- ・ 他大学の人と交流でき、いろんな意見が聞けること。
- ・ 疑問に思っていたことが質問できること。
- ・ 私は安田女子大学に通っているため、同世代の男性とも関わることが新鮮でしたし、他大学の同性の方の考え方や性格とつきあうことができ、面白かったです。

《意見・要望》

- ・ 鶏の屠殺の件は、私はやった方が良かったと思います。やはり、命を頂くということが一番身をもって感じられると思いました。でも多分、難しいですよネ…。
- ・ 鶏の屠殺については命の大切さが一番感じられるのでいいと思うのですが、人が集まらないのではないかと感じます。
- ・ バスで宿泊施設まで行けないなら歩きます！無理やり行ってもらわなくても大丈夫です。歩きます。農場見学の時などはみんなの動きがかなり遅かったのでせかしてもらっても大丈夫だと思います。実習は全部面白かったんですが講義がちょっと難しかったです。
- ・ 願わくば、家畜のお産に立ち会いたかった。(深夜でも)屠殺も見たかった。そして命のあ

りがたみをかみしめて最後に BBQ とかあるとなお良かったと思う。(構成としてはおもしろい気がする) スーパーで食品として切り分けられる現場の見学までできると良かったと思う。後日、より理解を深めるための演習 Part2 があったら参加したい。

- ・ 私たちに対してそんなに気を使わなくてもよかったですよ。歩けと言われれば歩きます。
- ・ 今回の安田女子のように大量に途中で抜けるのはいかなものかと思います。
- ・ 少人数よりも大勢の方が私は楽しいと思います。
- ・ またこのような体験プログラムがあれば参加したいです。
- ・ この演習はどれも貴重な体験でした。他大学との交流もでき、とてもたのしい 2 泊 3 日でした。またこのような体験プログラムがあれば参加したいです。

《その他》

- ・ 大学生活の中で一番楽しい演習でした。来年も是非参加したいです。ありがとうございました。
- ・ 大満足。
- ・ ヨーグルトが好き、牛乳が好きという理由で友人を誘って参加しました。来てみるとびっくり、バスが満席でこんなに人がいるんだ！！と嬉しくなりました。他大学の先生や学生と知り合えて、いろいろ考え方や生き方などを学んでいったつもりです。講義も実習も時間が細かくきざまれていて、暇になるとき（だらけるとき）がなく、ほどよい休憩タイムももらって、頑張ることができました。TA の方々も先生方も面白い方たちばかりで、広大が好きになりました。農場のにおいはきつかったけれど、牛、ヤギ、ブタ、とうもろこし、えだまめ、に初めてさわりました。命と生き物について考えさせられました。
- ・ またこのような体験プログラムがあれば参加したいです。
- ・ 演習全体を通してとても満足できました。
- ・ とても楽しく勉強出来て楽しかったです。最後までみんなといたかったので、それだけが残念でした。
- ・ 農場での体験はすべて新鮮で楽しく学ぶことができました。来年以降も楽しい演習にして下さい。今回この演習に参加して本当に良かったと思います。農場で働く方々もやさしく接してくださり安心して学ぶことができました。最後まで参加できなかったことが残念でした。TA の方も親切で色々な質問も丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。
- ・ 過ごしやすかったです。牛がかわいかった。
- ・ 広大の生物系の先生方は局長をはじめ本当に面白い方ばかりで全然たいくつしないし毎日ワクワクしました。本当にありがとうございました。